

# 読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、こんにちは。夏真っ只中ですね。私は意識して時にはゆったり休んで、体力の消耗を減らしています。では今月もご笑読頂ければ幸いです。

## 【今月の発見】

### チャイルド（子供）を認めてあげる！

多くのクライアントさんからこんな相談を受けることがしばしばあります。それは「うちの社員〇〇は大人として当たり前のことできない、何とかならないでしょうか？」というような内容です。そこで今回は解決パターンをまとめてみることにしました。それは一言で言うと、

「自分にとっては信じられないような欠点でも認めてあげること」

です。

ではある社長からの相談を例にとってお話ししましょう。

社長「うちの社員のA君は満足にお辞儀ができません。お客さんが帰って姿が見えなくなるまでは頭を下げつづけているのが常識なのに、それができないのです。」

私「そのことをA君には説明したのですか？」

社長「イヤ、何回言っても分からないんです。あいつはやる気がないんですよ。大体あいつはねえ、……（永遠とA君の欠点を並べ立てる）。

私「ちょっと待ってくださいね。社長はA君をお辞儀ができるようにさせたいのか、A君がいかに使えない社員なのかを私に聞いてもらいたいのか、どちらでしょうか？」

社長「え、勿論、A君にお辞儀ができるようになってもらいたいです。」

私「ではもう一度聞きますが、A君に何と言って注意しているんですか？」

社長「そうですね。＜何だ、あのお辞儀は！なっとらん＞という感じですかね。」

私「お辞儀の角度とか、タイミングとかは話していないんですか？」

社長「……え、いい大人でしょ、そこまで言わないといけないんですか？」

私「そうですね。何故ならお辞儀に関してはその人はチャイルド（子供）だからです。」

これはもちろん極端な例です。しかし大抵の場合、このように『もういい大人なんだからこれ位のことはできて当然だ。』という先入観から入っている場合が多いのです。ご参考にどうぞ。